

☆ 広報誌「平和の文化をきづく」NO. 66



2001年から2010まで国連「世界の子どもたちのための平和と非暴力の文化国際10年」

◆2012年度「平和の文化をきづく会」総会及び講演会報告

◇日時：2012年3月25日(日)

◇会場：大東文化会館

◇参加：13名

◇総会

1. 2011年度経過

<2011>

01月14日(金)	第114回幹事会	地球ひろば
02月08日(火)	広報誌「平和の文化をきづく」NO. 62号	
02月17日(木)	第115回幹事会	地球ひろば
03月11日(金)	東日本大震災	
03月27日(日)	2011年度総会	地球ひろば
04月17日(日)	第116回幹事会	地球ひろば
05月24日(火)	広報紙「平和の文化をきづく」NO.63号	
05月27日(金)	第117回幹事会	地球ひろば
07月08日(金)	第118回幹事会	地球ひろば
08月14日(日)	第119回幹事会	女性会館
09月30日(金)	第120回幹事会	地球ひろば
11月07日(月)	広報紙「平和の文化をきづく」NO.64号	
11月11日(金)	第121回幹事会	地球ひろば
12月16日(金)	第122回幹事会	地球ひろば

<2012>

01月20日(金)	第123回幹事会	地球ひろば
02月21日(金)	第124回幹事会	地球ひろば
03月05日(月)	広報紙「平和の文化をきづく」NO.65号	
03月25日(日)	2012年度総会	大東文化会館

2. 2011年度活動総括

2011年度総会においては「学生が国際問題を論議する意義—模擬国連活動を例に」と題して大学生の講演をお願いしましたが、3月11日の東日本大震災と福島第一原子力発電所の事故によって出席することができず、講演なしの総会となりました。また会場使用の関係で十分な時間が取れずに終わりました。したがってこの1年は大震災をふまえた取り組みとなりました。

昨年度末には埼玉県の中中学校と高校に「平和教育に関するアンケート」を実施し、40校を超える学校から回答がありました。その結果についてはニュースでも報告しています。その他国連決議の翻訳やCPNN(平和の文化ニュースネットワーク)への記事の投稿、平和アニメ、平和への権利への取り組みなどに関わってきています。

課題としてはニュースの発行の定期化、あるいは出版企画への取り組みですが、2012年度は出版において取り組みをすすめることが総会の議論でも出されています。また国連やユネスコに対して。「平和の文化」を積極的に進めるように働きかけることも提起されています。前号で紹介した2012年度の方針(案)についても基本的には了承されています。

なお広尾の地球ひろばが事業仕分けの影響で今年いっぱい閉館されることになり、市谷に移されま

す。幹事会は引き続き JICA を活用させてもらうことになりそうですが、どこか適切な会場がありましたらお知らせください。

3. 2011年度決算

(1) 収入の部

項目	予 算	決 算	比較増減	備 考
会 費	100,000	80,000		2000×
事業費	10,000	3,000		ブックレット・ワークショップ等
寄 付	5,000	0		
雑 費	1,000	0		
繰越金	-5048	-5048		
合 計	110,952	77,952		

(2) 支出の部

項目	予 算	決 算	比較増減	備 考
事務費	5,000	0		印刷・文具・封筒等
通信費	50,000	27,680		110通×80円×3回+α
会議費	20,000	1,600		総会講師謝礼
資料費	30,000	20,000		日本ユネスコ協会連盟
予備費	5952	0		
合 計	110,952	49,280		

(次年度への繰り越し) 77,952 - 49,280 = 28,672

4. 2012年度予算

(1) 収入の部

項目	予 算	前年度予算	比較増減	備 考
会 費	100,000	100,000	0	2000×50
事業費	10,000	10,000	0	ブックレット・ワークショップ等
寄 付	1,000	5,000	▲4,000	
雑 費	1,000	1,000	0	
繰越金	28,672	-5,048	49,400	
合 計	140,672	110,952	45,400	

(2) 支出の部

項目	予 算	前年度予算	比較増減	備 考
事務費	5,000	5,000	0	印刷・文具・封筒等
通信費	60,000	50,000	10,000	150通×80×4+α, TEL
会議費	10,000	20,000	0	会場費、交通費等
資料費	30,000	30,000	0	講師謝礼等
予備費	35,672	5,952	35,400	
合 計	140,672	110,952	45,400	

5. 2012年度役員

(1) 代表

藤田 秀雄 (立正大学名誉教授)

(2) 幹事

浅川 和也 (東海学園大学)

阿原 成光 (民主教育研究所)

いとうたけひこ (和光大学)

金子 真 (歴史教育者協議会)

菊地 恵子 (新英語教育研究会)

杉田 明宏 (大東文化大学)

瀧口 眞央 (さいたま教育文化研究所)

奈良 勝行 (法政大学)

埜 清子 (教育科学研究会)

松井 ケティ (清泉女子大学)

小島健太郎 (成蹊中高)

馬場 千枝子 (ヒューマンリソース)

秋林こずえ (立命館大学)

竹内 久顕 (東京女子大学)

(3) 幹事

瀧口 優 (白梅学園短期大学)

(4) 幹事

松本 孚 (相模女子大学)

諫山 和可 (都立小山台高校)

<顧問>

浅井 基文 (広島平和教育研究所)

高野 哲郎 (東京平和国際教育研究会)

堀尾 輝久 (民主教育研究所)

柳沢 民雄 (新英語教育研究会)

◆出版企画について

2012年度、過去11年間の「平和の文化をきづく会」の取り組みと世界の平和の文化と非暴力の流れについて出版を通してまとめていくことが予定されています。出版社などについてはこれから交渉ですが、内容作りをすすめるということで幹事会での議論がはじまっています。次号では構成(案)などを紹介し、皆さんからの意見を受けたいと思いますのでよろしくお願いします。

◆連絡・情報コーナー

★2012年度の会費を郵便局の払い込み用紙で以下の郵便振替口座へ2000円お願いします。(00120-0-182008 平和の文化をきづく会)

*記入済みの払い込み用紙をなくされてしまった方は郵便局にて青い振込み用紙を手に入れて上記の口座をお願いします。

★PCのメールアドレスがある人は教えてください。

*既にこちらに届けてある方もありますが、手書きでは間違いも多く、実際に届かない例もあります。今後はニュースの配布を電子データで送りたいと思っています。以下のアドレスに「平和の文化をきづく会アドレス」として名前を入れて送ってください。

takiguchi - masaru@r8.dion.ne.jp

次回の126回幹事会は6月9日(土)18時00分からJICA地球ひろば(地下鉄日比谷線広尾駅下車A3出口)ミーティングルーム2で開催します。問合せ電話は080-3450-6878(瀧口)へお願いします。

1. 総会を踏まえて
2. 出版に向けて他

JICA地球ひろば所在地 〒150-0012 東京都渋谷区広尾4-2-24 電話番号:03-3400-7717(代表)

*国連で「平和の文化」について決議された文書が次のHPに掲載されています。

http://www3.unesco.org/iycp/uk/uk_sum_refdoc.htm

*「きづく会」のホームページ (<http://homepage2.nifty.com/peacecom/cop/>)

*平和の文化ニュースネットワーク (<http://blog.goo.ne.jp/cpnn>)

*事務局:〒332-0015 川口市川口2-15-1-1004 瀧口優 048-254-5074(TEL)048-254-5051(FAX)

<以下CPNNの記事から>裏面: <http://blog.goo.ne.jp/cpnn>で読めます。

なお記事の投稿も募集しています。であった本、映画、歌、そして日常のできごとで非暴力や平和の文化促進に役に立ちそうな内容をHPに紹介します。裏面の2つの最新の記事を参考に下記に送ってください。CPNN投稿記事として400字前後です。

Takiguchi-masaru@r8.dion.ne.jp

絵本「大きな木」

レポーター：NOW

作・絵 シェル・シルヴァスタイン 訳 本田錦一郎

この本を子供から大人まで楽しめる本として紹介します。主人公である木が小さい頃から成長の過程男でも男の子がしたいということにこたえ何でも与えるという内容の絵本です。読み進めると、男の子の自分勝手な願い事にこたえて感謝されずとも見返りを求めず与え続ける木の「無償の愛」とその切なさが心に沁みます。原題は「THE GIVING TREE」、つまり「与える木」。私自身小さいころに1度読んだことはありましたが、最近になってもう1度読みなおしたときその木の愛を再確認しました。

木は男の子が幸せを感じたとき、それを自分の幸せとしました。自分が犠牲になっても男の子が幸せになってほしかった。それが木の幸せだから。今の社会で見返りをもとめない、無償の“愛”が存在するのでしょうか。いったい何人の人が他人の幸せを自分の幸せと言えるのでしょうか。何よりも先に損得を考えてしまう世の中がちょっと深呼吸するための絵本だと思います。ぜひ読んでみてください。

モデレーターのコメント

「THE GIVING TREE」を直訳すれば「与え続ける木」ということで話の通りです。でも訳者は「大きな木」としました。なぜでしょうか。そんなことを考えるだけでもやさしくなりますね。とてもいい話ですが、この話から私達が何を引き出すのかが問われていますね。

ピースキー：（1）生命の尊重 （2）非暴力 （5）環境保護

ランドリー

レポーター：lan

この映画は、知的障害を持った青年テル(窪塚洋介)と、心に傷を負った水絵(小雪)を中心とした話です。テルは、祖母の経営するコインランドリーで、洗濯物を盗まれないようにと監視をする仕事を任されています。水絵の忘れ物の洗濯物を届けるためにと、この後いろいろと展開されていきます。

主人公のテルが純粋なまっすぐさや、一生懸命な姿に癒されて、また感動できます。映画の名前の通りに、心が洗濯されるような映画です。観終わった後には心がずっと軽くなり、温かな気持ちにさせてくれます。疲れたとき、気持ちをリセットしたいときにおすすです。人との繋がりがいいなと感じます。テルだけではなく、コインランドリーを利用しているお客さんなど、登場人物も非常に面白くて飽きさせません。BGMもよく映画と合っていて、映画の雰囲気を引き立ててくれます。窪塚さんの演技力の高さにも、注目してほしいです。これから先何度も繰り返し観たくなるような映画です。

モデレーターのコメント

物語の構成としても見たくなるような映画ですね。知的障害の人々は本当に「純粋なまっすぐさや、一生懸命な姿」を見せてくれます。だから「害」などということばを使うには抵抗もあります。私たちがこの世界の人間関係で失っているものをもう一度教えてくれる存在でもあります。是非見てみたい映画ですね。

ピースキー：

（1）生命の尊重 （4）傾聴 （8）民主主義